

議席 7 番，渡邊昇君。

〔7 番 渡邊 昇君登壇〕

○7 番（渡邊 昇君） 皆さん，こんにちは。大変お忙しい中，傍聴の方ありがとうございます。議席 7 番の渡邊昇でございます。議長のお許しをいただきましたので，質問をさせていただきます。

全国的に地方自治体では，人口が減少しております。当町も，2 万 5,000 台から 2 万 4,000 台になってしまいました。毎月人口が減っている状態でございます。そこで，深刻化する少子化対策の中で，婚活支援などの事業に取り組む必要があるのではないか。また，来年は 3 月の圏央道の境古河インターチェンジの完成，開通に伴う開通記念式典，次に境町合併 60 周年記念事業，そして終戦 70 年の節目の年に当たり，当町のイベントの予定，考えについてお聞きしたいと思います。

そこで，まず 1 項目として，少子化対策の強化について。1 点目として，若者の結婚，子育てに伴う後押し支援について。

次に，2 項目として，消防の維持管理について。①として，ポンプ作動等の定期点検実施について。②として，女性消防団員の募集状況について。

そして，3 項目として，町の行事について。①として，終戦 70 年の節目に戦没者追悼式の行事の予定は。②として，境町合併 60 周年記念式典について。

以上，3 項目，5 点についてお伺いいたしますので，誠意あるご回答をお願いいたします。

○議長（関 稔君） ただいまの質問の 1 項目に対する答弁を求めます。

秘書公室長。

〔秘書公室長 橋本健一君登壇〕

○秘書公室長（橋本健一君） では，私のほうから渡邊議員さんの 1 項目めの少子化対策の強化についてのご質問にお答え申し上げます。

若者の結婚子育てに伴う後押し支援についてのご質問でございますけれども，この少子化対策がなかなか進まないのは，未婚化やいわゆる晩婚化が進んでいることが一因でありまして，いわゆる非正規雇用の若者がふえまして，また経済的な安定が得られないことや，結婚に対する意識の変化，さらには異性との知り合う機会に恵まれないといった社会的要因があると言われております。したがって，町では少子化対策の一環として，いわゆる待機児童や子供の手当など子育て支援の各施策を実施しておりますが，さらに子育て以前のいわゆる結婚を望む若者への支援など，結婚対策に対しましても施策を講じることが必要であると考えております。

こうしたことから，町では平成 25 年に任期を 2 年として 6 名の結婚相談員さんを委嘱しておりますが，相談員さんには個々に活動していただいておりますが，残念なことに具体的な成果にはつながっていないのが現状であります。今後，いわゆる NPO 法人ベル・サポートと連携を図りながら，今後の相談員のあり方を含め，総体的に見直しを図っていき

たい考えでありますので、ご理解のほどひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。

なお、古河市でありますけれども、商工会議所が主催によりまして、第2回目のまちコンが9月に開催されました。キャンセル待ちが出るほどの盛況の中、いわゆる42組のカップルが成立したと聞いております。当町におきまして、職員からの提案がございまして、勤労青少年ホームにおいて施設の利用者に呼びかけをいたしまして、いわゆる出会いの場を計画してはとの話がありましたので、現在実施に向けて計画を進めているところでございますので、ひとつよろしくお願ひします。

また、町内の人だけのいわゆるパーティーなどのイベントでは参加しにくいというような意見もある中、ラブトレイン常総と称しまして、古河市から取手市の広域な範囲で11月8日、八千代町を会場に男性20名、女性が14名の参加のもとパーティーが開催されました。2組のカップルが誕生したと聞いております。これに境町からは男性3名、女性2名が参加し、現在連絡をとり合っていると聞いております。

なお、平成25年度の境町の婚姻届け出件数でありますけれども、全体で330件ございました。そのうち、いわゆる境町に住所を有している件数というのは111件となっておりますので、報告をさせていただきます。いずれにいたしましても、この人口減少問題に対応するため、子育て支援やそれから定住化促進とともに、結婚対策につきましても諸施策を講じていきたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

以上であります。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） 答弁をいただいたのですが、境町で私、昨年3月の定例会にもこういう話はしたと思っております。そのときに結婚支援ということで、町で数名かの人をお願ひして委嘱して活動するというふうにしますというお話を聞きましたが、その辺でもっと詳しい、何名いて、ああ、6名ですね、ごめん。6名の2年間と、活動報告なんかはどのようになっていますか。

○議長（関 稔君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。

秘書公室長。

○秘書公室長（橋本健一君） お答え申し上げます。

25年度のときに、要するに結婚サポート事業というのを始めたわけです。そのときに、要するに6名の相談員さんを委嘱させていただきました。境地区で1名、それから長田地区で2名、猿島地区で2名、森戸地区で1名という形でございます。

それで、その後でありますけれども、渡邊議員さんも以前にこの件につきましては一般質問したかと思うのですが、その答弁の中でいわゆる回答というのは、そのときにははっきり方向性というのが決まっておりました。そのような形の中で進んできたわけなんですけれども、いわゆる結婚委員さん個々に活動していただいて、その中で要するに情報を交換しようという形になっておりましたので、ひとつよろしくお願ひしたいと思ひま

す。

以上であります。

〔「具体的に幾つか」と言う者あり〕

○秘書公室長（橋本健一君） 実際に具体的な活動というのは、いわゆる先ほど申しましたように相談員さん個々にやっていたものですから、総体的に取りまとめていなくて、先ほど言いましたように実際に成果としてあらわれなくて、それほど活動というのは個々にやっていたものですから、うちのほうで余り把握していない状況というのがあれでございますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） 済みません、しつこいようですけども、ちょっとその活動していない、または町では幾らか費用を持ち出してその人たちにお願ひしているとか、そういうのもわかればお聞きしたい。また、なぜ静地区に委嘱できなかったのかなというのもお聞きできればと思っています。

○議長（関 稔君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。

秘書公室長。

○秘書公室長（橋本健一君） お答え申し上げます。

まず、静地区に相談員さんの配置の件でございますけれども、恐らく25年度に6名の人を委嘱したときに、この区域で大体適正な配置ではないかなということで配置したのではないかなということでありますので、ひとつよろしくお願ひします。

先ほど申しましたように、余り相談員さんが個々に活動しているものですから、総体的に見直していくというような形でございますので、ひとつよろしくお願ひいたします。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） 理解させていただきました。私のほうは、個々に活動していただくということで委嘱をしてあるということでは結構だと思いますが、やはり相談員さんが年に一、二度、町が事務局になって集まってもらって情報交換とか、いろいろな話もできればいいのではないかなと思っておりますので、そういう機会を設けた方向が私としてはいいと思うので、ただ個々に任せて2年間ではなくて、年に一、二度、事務局をつくってもらって活動状態やそういうのも必要ではないかと。また、2年で、またもう二年継続してやってもらうとか、いろいろあるでしょうから、その辺ももっと具体化して活動してもらえばいいのかなと思っております。その件については終わります。

○議長（関 稔君） これで、1項目についての質問を終わります。

次に、2項目に対する答弁を求めます。

町民生活部長。

〔町民生活部長 忍田 博君登壇〕

○町民生活部長（忍田 博君） 続きまして、渡邊議員さんの2項目め、消防車の維持管理について、ポンプ作動等の定期点検実施についてとのご質問にお答えをいたします。

消防車両のポンプ等の定期点検につきましては、通常は各分団において車両、器具、全ての面において日ごろから点検を実施するようお願いをされているところでありまして、ポンプ作動におきましても月2回程度の動作確認を実施するようお願いをし、異常や整備が必要な場合は随時対応いたしまして、万全の状態で大変や災害時に対応できるよう努めているところでございます。現在、消防車両のほうで、第3分団の消防車両等についてポンプ等の故障というような状態が発生している状況がございますが、今回操法大会等の関係で使用してきた経過がございましたものですから、修理等するのに当たりまして数カ月間の期間を要するということがございますので、修理期間中に火災発生のおそれもあるというようなことから、今般西南地方広域消防本部に相談をいたしましたところ、現在あいているポンプ車を貸していただくというようなお話がございましたので、現在手続を進めておりまして、12月1日にこの車両が届くようになっておりますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。

今後におきましても、車検時の点検整備や各分団においての定期的な点検等を十分実施をいたしまして、災害時に迅速な対応ができるよう努めてまいりたいと考えております。また、消防車両の買い換え計画等につきましても、現在検討しているところでございますので、ご理解のほどいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

続きまして、次に女性消防団員の募集状況についてのご質問にお答えをいたします。まず、境町女性消防団の結成とこれまでの経過でございますが、近年男女共同参画型社会の形成におきまして、女性の特性を生かした独居老人宅の住宅防火診断、あるいは救急講習など大きな成果を上げている女性消防団を拡大をし、消防団業務の充実強化を図るとともに、あわせて毎年減少しております消防団員確保対策に資するため、全国的に女性消防団の結成が推進をされてきているところでございます。当町におきましても、平成21年度に行政区長さんのご協力によりまして、各地区から2名の方の推薦をいただきまして、10名の女性消防団員で結成をいたしております。現在、心肺蘇生やAEDなどの指導ができる応急手当普及員の資格を取得していただきまして、各種イベントや防火訓練などにおいてご活躍をいただいているところでございます。

しかし、5年が経過をしてきているところが、退団をされたいという方も中にはありまして、今般各地区の区長さんをお願いをしまして、現在新たな団員についてご協議をいただいているところでございます。なお、募集に当たりましては、心肺蘇生やAEDなどの指導ができる応急手当普及員の資格を取っていただくということになることから、10名のうち5名の方に残っていただき、新しい女性消防団員の方がなれてきましたら交代をしていただくというような形でスムーズな活動ができることが望ましいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思ひます。

以上です。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） 先般10月19日の県西地区操法大会において、第4分団が第3位ということに、本当におめでとうございます。また、関係機関の方、大変ご苦労さまでございました。その時点ですね、大会は3位ということでスムーズに終わったわけですが、実は話を聞きますと、2日前にポンプ作動のほうが摩耗しておりまして、急遽故障してしまったというお話を聞きました。私も生意気ですけれども、実は10月上旬に町長初め激励に行ったときに、これはちょっと危ないなと私は私なりに感じておりました。そのぐらいで心配したのですが、その後もちょっと行ったときも、かなりギアをかんでいたの、これはちょっとやばいなと私は個人的に思っていました。

そういう中で、なぜ摩耗するかというと、あれだけの半年近くの訓練をしてくれる車ですから、早い話が10年も15年くらい使ったぐらいにポンプ作動しています、訓練で。1日2回、3回やっているのですから。ほとんどもう後半は毎日のように訓練をしてくれました。ということは、一般の車からすれば10年分ぐらいは、そのポンプ作動使っているのですよ、回数でいいますと。ということは、町長さんも消防団やってくれたらわかりますけれども、普通の点検というと月2回が点検なのです、私たちがやっているのは。点検で1回使えば、私は2回のうち1回使えばいいなと、ポンプ作動はしないと思います。ほとんどもう点検というか、消火栓の場所を点検するとか、その辺の泥があったら泥を払うとか、そういうのを見たり、あとはつなぎ方教えるとかするけれども、消火栓からではつなぐだけで、別にポンプ作動はしないで水は出ますから、そういうのが今現在多いわけです。井戸とか堀とかから出すというのは少ないと思います。そうすると、ポンプ作動の仕事というか、訓練は余りしないと私は思っています。そういう中で、操法大会のように3分団の車をお借りして毎日のようにやってくれるのですから、もう壊れるのは当たり前なのです。そういうことを考えて、なぜ私は点検をしていなかったのかと言うわけです。

その3分団の車を、何でおまえたちの車を使うのだいと3分団の方に言ったら、うちのほうの車がいいので、ずっと貸しているのだと。毎年操法大会に貸しているのだと。もう2年とか3年連続貸しているのだと。そういう状態で同じのを使ってくれて、3分団の分団はかわいそうですよ。その辺をちゃんと整備してくれれば、別に走行はしないから、2年に1回の車検なんていうのはもう大丈夫ですよ、そんなに走らないですから。年間に1,000キロか2,000キロだと思います。ただ、ポンプ作動だけは、あれだけ訓練すれば減ります。その辺を今度徹底的にやってほしいな。あれがもし大会当日だったらどうですかと思うのです。いよいよ今度は境町ですよといったときにポンプ入れたらガーッと行って終わっちゃった。そうしたら、もう1位、2位、3位どころではないです。がっかりしますよ、団員が。そういうことを考えて、これからそういうことがないように、たまたま本番でなかったからよかったと思いますけれども、その辺を見て、その辺の日ごろの点検とか整備とかをしてほしいなということでお願いしているわけでございます。

そういう中で、3分団のところで車両が、その3分団車両があるそうですが、実はそのポンプ作動が壊れているので、火事場へ行っても水が出ないという車も扱っているわけです。私のところで、もし地元であったときに、行ったけれども、水が出ないということは困るのではないかなと思っておりました。そういう意味で、部長のほうからもありましたように、消防署のほうから12月に入ったらお借りできるということで、すぐ早急にその対応はできるかと思えますけれども、ただ今まで40日近く、車はあっても水の出ない車を置いているという状態で、住民はそれを聞くと残念だなとか思います。そういうので、早く取りかえてもらって、今後そういうことがないように、ちゃんとした点検をしてほしいなということなのですが、よろしくをお願いします。

○議長（関 稔君） それ要望だけでいいですか、では。

○7番（渡邊 昇君） いや。

○議長（関 稔君） 答え求めますか。

○7番（渡邊 昇君） 答弁していただければ。

○議長（関 稔君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。

それでは、町民生活部長、お願いします。

○町民生活部長（忍田 博君） 渡邊議員さんの再質問にお答えをさせていただきます。

消防車両の点検等につきましては、先ほども答弁させていただきましたが、今後におきましても団員の方による点検、及び特にポンプ作動につきまして常時、やっぱり先ほど音等の異変があるというようなこともお話がありましたが、車両の取り扱っている業者さんのほうにも見ていただくような形で整備のほうを図っていきたいというふうに努めていきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） ちょっと確認でお願いしたいのですが、12月に入ったら消防署のほうからお借りする車があるということで、チェンジするお話をしていましたね。そして、3分団の車を直したら、またその3分団のほうの車が3分団に入ってくるのですか。それともどんなふうな考えをしているのですか。

○議長（関 稔君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。

町民生活部長。

○町民生活部長（忍田 博君） ただいまの質問にお答えをさせていただきます。

先ほどありました第3分団の車両が故障したときに、特殊車両ということでポンプ作動ですか、消防車ということでなかなか代替の車が見つからなかったという中で、今後消防署のほうのをお借りをしている中で、修理等が終了しましたら、従前の3分団で使用した車をまた同じように使っていただくというような考えで現在は考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ございますか。

○7番（渡邊 昇君） ありません。2番目お願いします。

○議長（関 稔君） これで、2項目め……

○7番（渡邊 昇君） ②に入ります。

○議長（関 稔君） 2項目めの①を終了いたしまして、2項目めの2番ですね、わかりました。

では、2項目めに対して質問。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） 女性消防団の募集ですけれども、きょう現在、きょうが締め切りの予定みたいですが、きょう締め切り現在で女性消防団の応募の方がいたら何人、いなかったのか、その辺をちょっと報告してほしいと思います。また、いたらどこの地区の方から出ているかも教えてください。

○議長（関 稔君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。

防災安全課長。

○防災安全課長（野村静喜君） それでは、渡邊議員さんの質問にお答えをさせていただきます。

女性消防団員の応募状況でございますが、各区長さんをお願いをしまして町内全域に募集をしたところでございますが、その結果の応募はございませんでした。

11月26日に第2回目の女性消防団推薦に係る会議ということで、各地区代表区長さんにもご協力をいただきまして、その中で協議をいたしました。静地区におきましては、人選がほぼ決まり承諾が得られたというようなことで、きのう区長さんからご報告を受けております。また、森戸地区におきましても数名の候補者がいるということで、現在代表区長さんに確認をいただいているところでございます。また、その他の地区におきましては、まだ見つかっていないという状況がございまして、会議の中で各消防団の分団の方や母の会等の協議をいただきながら、今後進めていくということで協議をいただいておりますので、状況を見守っていきたいというふうに考えておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） 大分わかりました。できれば各地区に1人ずつ分散して募集できればいいなと思っていますので、要望しながらお願いします。よろしくお願いします。2項目を終わりにします。

○議長（関 稔君） これで2項目に対する質問を終わりにいたします。

次に、3項目に対する答弁を求めます。

福祉部長。

〔福祉部長 塚原栄一君登壇〕

○福祉部長（塚原栄一君） 私から、3項目めの町の行事についての1点目、終戦70年の

節目に戦没者追悼式の行事の予定はとのご質問にお答え申し上げます。

町では、現在まで多くの英霊に対しまして哀悼の意を表するため、靖国神社あるいは護国神社において、町遺族会との共同開催による慰霊祭を隔年で実施してまいりましたが、本年度につきましても去る10月8日に遺族の方々約150名の参加をいただきまして、護国神社にて慰霊祭をとり行ったところでございます。議員ご指摘のとおり、平成27年は終戦から70年を迎える記念すべき年となります。そこで、町遺族会では10月23日に開催をいたしました役員会の中で、70周年記念事業の取り組みについて話し合いを行いましたところ、遺族会の会員数が年々減少し続けており、特別記念行事への取り組みは難しいのではないかという意見が出されましたが、近隣自治体の状況を調査の上、改めて協議をするということになっております。町といたしましては、単独での開催ではなく、これまでと同様、町遺族会との共催が望ましいものと考えておりますことから、町遺族会のご意見を拝聴した上で、記念行事の開催について検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○議長（関 稔君） 次に、総務部長、お願いします。

〔総務部長 榎場桂一君登壇〕

○総務部長（榎場桂一君） 私のほうからは、合併60周年記念式典につきましてお答えをさせていただきます。

ご承知のとおり、当境町は昭和30年3月に旧境町、長田村、猿島村、森戸村、静村の1町4カ村が合併し、来年3月に60周年を迎えるわけでありますが、この大きな節目を町民の皆さんと祝うとともに、当町の礎を築いた多くの先人たちの功績に感謝し、将来に向けてさらなる発展につなげられるよう記念式典等を開催してまいりたいと考えているわけでございます。県内の市町につきましても、最近では10月16日には常陸大宮市、11月1日ひたちなか市、11月9日結城市、11月23日に高萩市にて式典が開催をされているところでございます。また、合併60周年を広く周知するとともに、当町の魅力を効果的に発信することで町民の皆様に、次世代を担う子供たちに、さらには町の愛着や誇りを高めていただき、町外の方に対しましては当境町の認知度、好感度を高め、活性化につなげてまいりたいと考えているわけでございます。

日程等についてでございますが、記念式典といたしましては、平成27年4月または5月として開催し、記念イベントにつきましては例年開催のさかいふるさと祭り等のイベントに合わせまして開催し、町内、町外の皆様方に強くアピールしてまいりたいと考えているところでございます。なお、今定例会におきまして、その開催準備といたしまして、記念誌の発行に係る補正予算を計上させていただきましたので、ご理解の上、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） ①のほうで、最初お願いします。確かにこの戦没者追悼式をやる

に当たりましては、大変な費用がかかることは承知しております。しかし、終戦70年を振り返ったときに、戦争で亡くなられた方、戦病死で亡くなった方、境町でも七百数名の方がいるというふうにちょっとお聞きしております。そういう方たちに、年数はたっても後世に残すような式典をしたほうがいいのではないかと私は思っておりますので、この話をしているわけでございます。

なぜかという、部長にお伺いしましたように、各年ごとでなくて1年置きに水戸の護国神社、そして東京の靖国神社に遺族会として150名、200名でお参りに行っております。そういう中で、境町は私は参加率がいいのではないかと思っております。ただ、夏ごろですか、大子のほうへ行ったときに、たまたまお話しした年配の人が大子の遺族会の方だったです。大子町の方は毎年靖国神社へ行っているのだと。それは自治体でやることですから、毎年行こうが、行かないとなればそれはしょうがないですけども、そういう大子のほうからも毎年靖国神社へ行っている。護国神社は行かないのですか、護国神社も来ているよということなのです。そういうふうには、一生懸命遺族会で町を挙げてやっているところもあると。

私が何で70周年の戦没者追悼式をやったほうがいいのかと思うと、昨年八千代町でやりました。ことしは水戸と神栖市でもやりました。確かに参加者は150名、200名と少ないとは思っていますが、その方は本当に遺族者の方の代表の方なのです。この今の日本の平和と繁栄があるのは、私はそういう方たちのおかげだと思っております。私は古い人間かしりませんが、そういった上で、ここに若い町長を初めこういう式典をできたということは、私は遺族会の方初め、そういう年配の方に境町はすごいのだと、人口少なくてもそういうことをやってくれるのかという意味で、私は素直な形でもって一生懸命働いた、戦死した方たちの遺族に対して追悼式はいいのではないかと考えてこれを取り上げたわけでございます。

何かそういうことで、町も大変ですし、また遺族会の役員さんもなかなか大きな行事は大変だということを言っておりますが、私はそういう意味でぜひ町と遺族会の役員さんが骨を折っていただきまして、来年中にできれば、いろいろ前半は町のイベントがありますから、それはもう町のイベントをやってもらって、最後でいいですから、この式典ができないかと思っておりますので、どんなぐあいにかちょっとお聞きしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○議長（関 稔君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。

福祉部長、お願ひします。

○福祉部長（塚原栄一君） それでは、私のほうからお答え申し上げます。

先ほども申し上げましたが、こういったイベント、行事につきましては、町単独での開催というより遺族会との共催というのが最も望ましいものではないかというふうに思っております。そこで、議員さんも恐らくご存じのことと思っておりますけれども、毎年度境町遺族会の事業の一つに境と五霞の戦没者の合同慰霊祭事業が来年度も開催される予定でございます。

ますので、当然予算面もございしますが、戦後、終戦70年の記念の年にふさわしい事業が展開できるかどうか、境町及び五霞町の遺族会の会長さんにご協議をさせていただければなというふうに思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） そういうことで、いいお話をしてくれましたので、五霞町さんと遺族会の方で協議していただきたいと思っています。それで終わります。

②をお願いします。

○議長（関 稔君） ②はやりましたけれども、質問ありますか。

○7番（渡邊 昇君） はい。実は……

○議長（関 稔君） 回答、今答弁しましたから。

○7番（渡邊 昇君） 済みませんでした。町長報告でこれ見せてもらいまして、60周年記念式典のイベントのあり方が大体わかりましたので、理解は大体できたのですが、これは4月、5月というのは単なる式典だけで終わらせるのか、何か講演とかちょっとイベントが、イベントはふるさと祭りとは聞きましたけれども、その前の何か内容等は、わかる範囲でいいですけれども、教えていただければと思っています。4月、5月に開催した場合に。

○議長（関 稔君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。

総務部長。

○総務部長（榎場桂一君） 4月及び5月に開催する式典につきましては、式典のみということで現在のところ計画をしております。よろしくをお願いします。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） 一緒に聞けばよかったのですが、参加者の要請とかお願いとか、来賓とかその辺はどのようなになっているのですか。式典だけというのはわかりましたけれども、参加者とか招待するとか、それはどんなふうにするのか教えていただけますか。

○議長（関 稔君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。

総務部長、お願いします。

○総務部長（榎場桂一君） お答えを申し上げます。

先ほど県内で、最近でも常陸大宮、ひたちなか、結城、それから高萩ございますので、そちらを参考にしながら、それに恥じないようなものを、参加者の皆様をお願いしながら立派な式典にしたいということで考えています。よろしくをお願いします。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ありますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） 質問ではなくて、そういうことで町長初め来年はいろいろな3月

の圏央道開通等、いろいろと大変な記念事業を持っておりますので大変だと思うのですが、
れども、よろしく執行部の皆さんにお願いしたいということで終わりにしたいと思えます。

私あと19分もあるのですが、スムーズな100%の回答をいただきましたので、早く終わっ
てしまいました。これで終わりにします。ありがとうございました。

○議長（関 稔君） これで渡邊昇君の一般質問を終わります。